

狭山市議会議長
加賀谷 勉 様

視察議員氏名 高橋ブラクソン久美子

視 察 報 告 書

このことについて、次のとおり報告します。

- 1 期 間 2019年 11月 21 日～ 年 月 日(泊日)
2 視 察 先

川越市：カーサライラック

- 3 調 査 事 項

設立の経緯 施設の概要 現状・現況

- 4 調 査 概 要

1. 設立の経緯



2017年3月、「すみれ館」という市が所有・運営する母子生活支援施設が閉鎖された。「すみれ館」は老朽化が進み耐震性に問題があった。市は補助金を出して、社会福祉法人 埼玉育児院に新しい母子生活支援施設の整備・運営を呼びかけた。埼玉育児院は大正元年に創設された児童養護施設を運営しており、子どもの福祉には母子の健全な関係が大切である事を強く認識していた。そこで、市の依頼を受け、母子生活支援施設の建設を決定し、「カーサ・ライラック」として、2018年12月に施設を開設



した。

ここが出来るまでの経緯を施設長に伺ったが、足掛け 3 年掛けて、土地をさがし、補助を受けて工夫してこの施設を建設したそうだ。

2. 施設の概要

建物：3 階建て。居室 2DK. 各室に台所、風呂、トイレあり。居住用 20 室。ショートステイ用 1 室。母子緊急一時保護用 1 室。

部屋を見せていただいたが、新しい施設という事もありとても綺麗だった。室内にはガスコンロ、テーブル、椅子、冷蔵庫、エアコンなどが設置されており、すぐにでも生活できるようになっていた。



そのほか、相談室 3、プレイルーム、保育室、学習室、地域交流室などがある。

3. 現状・現況

職員体制は、施設長、母子支援員、少年指導員、臨床心理士、保育士、栄養士、嘱託医、警備員となっている。現在は 11 世帯 39 人が住んでいる。ほぼ全員の母親は DV 被害者である。子育てに困難をきたしている例が多く、支援が必要である。また、酷い家庭状況の中で母に問題を抱えている例も多く、心や身体を癒して、家族を立て直すには相当の時間が掛かりそうだという。今までの例では、母親は 17 歳から 49 歳までで、20 歳代が多いという。母子生活支援施設の母は親権を持たなければならないそうで、未成年の母親の場合、未婚だと親権は祖父母に行くことになり、入居できないのだそうだ。

主なサービスは、生活相談、生活支援、子育て相談、補完保育、同行支援、アフターケアなどがある。生活上の困りごと・経済面や人間関係（親や子ども、夫）、生活面では体調不良によつての家事や育児の代行や指導、子育てでは、育児・躾や学校の問題など、に対応してくれる。この施設に入居する母親は、前の家庭生活を原因とした多くの問題を抱えている。だから、アパートのような住居ではなく、身近に心配し世話をしてくれる力になってくれる人がいる事はとても大切である。

このほか、ライラックでは、地域の子育て支援事業もおこなっている。母子緊急保護事業、子育て短期支援事業、トワイライトステイ事業、ショートステイ事業などである。

私がこのような施設を視察しているのは、狭山市にも母子生活支援施設に入居している

家族がいるからだ。このライラックにも狭山市で措置した家族もいたという。私は、彼女等がどのように暮しているか、幸せになっているか、その人たちに心を馳せていた。酷い夫の暴力などから密かに逃げ、心身を休ませ、健全な家庭を築く手立てを見つけようとしている人たちだ。入所に至るまでは辛く不幸な目にあっただろうが、ここに来られた家族は幸せだと思う。施設の皆が頑張ってくれて保護してくれる。助けようとしてくれる。私は視察して安心した。

ライラックは、DV被害などにあっている入所者が多いから、住所は明らかに出来ない。逃げて隠れている人たちだからだ。長い悲惨な家庭生活で心身ともに疲弊し、きちんとできないこともある。漸く得た安心をDV夫に脅かされてはならない。常に行っている警備や施錠や出入りの際の厳重なチェックは基本的なことである。

ここには心身を病んでいる多くの親が住んでいるという。しかし、どうして、てんかん発作があるという入所させてくれないのだろう。てんかんの発作が毎日のようにあるなら別だが、年に1,2回の発作ならば、嘱託医もいる事だし、入所できるようにしてほしい。ここに入所できなければ、親子が分離させられるケースも出てくる。児童養護施設にいる子ども達の中には、一度も家に帰れない例もある。このような母子生活支援施設で母子共に生活できれば、子どもは養護施設、親はひっそり、寂しく子どもを思うような分離生活をしなくても良いのと思う。

1996年に優生保護法が廃止された。しかし、障がい者が結婚し、子育てをしようとする大きな壁につき当たる。子育て支援が必須だからである。家族寮や、母子寮に入り、日常的に相談ができる状況が一番安心できると思う。この母子生活支援施設をみて、ここが素晴らしいだけに、もう一歩進んだサービスを期待したい。